

精神疾患の医療体制構築に係る指標

区分	指標 (●重点指標)	現 状			数値目標	施策等
		福井県	全 国	備 考		
ストラクチャー	● 統合失調症を入院診療している精神病床を持つ病院数	16施設 2.0施設/10万人対	1,599施設 1.3施設/10万人対	※ レセプトデータ		・精神疾患の予防や心の健康づくりに関する正しい知識の普及啓発
	● 統合失調症を外来診療している医療機関数	46施設 5.8施設/10万人対	7,605施設 6.0施設/10万人対	レセプトデータ		
	治療抵抗性統合失調症治療薬治療を行うことができる医療機関数(CPMS登録医療機関数)	4施設	415施設	クロザリル適正使用委員会 (平成29年11月)	現状より増加 (2020年度)	・総合福祉相談所を中心に依存症、ひきこもり、児童思春期等に関する研修会の開催、相談の充実
ストラクチャー	● 認知症を入院診療している精神病床を持つ病院数	16施設 2.0施設/10万人対	1,585施設 1.2施設/10万人対	レセプトデータ		・健診や職場におけるストレスチェック、一般医と精神科医との連携強化の推進
	● 認知症を外来診療している医療機関数	精神療法に限定 39施設 4.9施設/10万人対 精神療法に限定なし 355施設 44.9施設/10万人対	精神療法に限定 6,554施設 5.2施設/10万人対 精神療法に限定なし 58,164施設 45.8施設/10万人対	レセプトデータ		
プロセス	認知症サポート医養成研修修了者数	38人	—	長寿福祉課 (平成28年度末)	59人 (2020年度)	・精神科救急医療体制の充実に向けての検討および措置入院受入れ医療機関および精神保健指定医の確保の検討
	かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数	657人	—	長寿福祉課 (平成28年度末)	800人 (2020年度)	
ストラクチャー	● 20歳未満の精神疾患を入院診療している精神病床を持つ病院数	11施設 1.4施設/10万人対	994施設 0.8施設/10万人対	レセプトデータ		・精神科救急医療機関と一般救急医療機関との協議の場を設置し、受入れ体制の検討、研修会の実施
	● 20歳未満の精神疾患を外来診療している医療機関数	43施設 5.4施設/10万人対	6,915施設 5.4施設/10万人対	レセプトデータ		
	● 発達障害を入院診療している精神病床を持つ病院数	11施設 1.4施設/10万人対	1,171施設 0.9施設/10万人対	レセプトデータ		
	● 発達障害を外来診療している医療機関数	精神療法に限定 39施設 4.9施設/10万人対 精神療法に限定なし 142施設 18.0施設/10万人対	精神療法に限定 5,763施設 0.9施設/10万人対 精神療法に限定なし 25,454施設 20.0施設/10万人対	レセプトデータ		
プロセス	子どもの心の診療を行える専門医数	1人 児童青年精神医学学会認定医	325人 児童青年精神医学学会認定医	平成29年5月	6人以上 (2021年度)	・難治性精神疾患について、治療抵抗性統合失調症治療薬を使用できるよう精神科病院と血液内科等を有する医療機関とのネットワーク構築の検討
ストラクチャー	● アルコール依存症を入院診療している精神病床を持つ病院数	16施設 2.0施設/10万人対	1,466施設 1.2施設/10万人対	レセプトデータ		・医療従事者および看護職員を対象とした認知症対応力向上研修の実施、認知症サポート医の養成  ・子どもの心の診療を行える専門医の養成、コメディカル等の人材育成  ・DPAT養成研修による県内体制の整備、平時からの他の医療チームとの連携体制の構築
	● アルコール依存症を外来診療している医療機関数	30施設 3.8施設/10万人対	5,236施設 4.1施設/10万人対	レセプトデータ		
	● 薬物依存症を入院診療している精神病床を持つ病院数	6施設 0.8施設/10万人対	494施設 0.4施設/10万人対	レセプトデータ		
	● 薬物依存症を外来診療している医療機関数	14施設 1.8施設/10万人対	1,719施設 1.4施設/10万人対	レセプトデータ		
	● ギャンブル依存症を入院診療している精神病床を持つ病院数	0-2施設	66施設 0.1施設/10万人対	レセプトデータ		
	● ギャンブル等依存症を外来診療している医療機関数	7施設 0.9施設/10万人対	416施設 0.3施設/10万人対	レセプトデータ		
	● 依存症専門医療等機関(依存症専門医療機関、依存症治療拠点機関)	専門医療機関 1施設 治療拠点機関 0施設	都道府県指定 専門医療機関 38施設 治療拠点機関 30施設	令和3年3月現在	専門医療機関 3施設以上 治療拠点機関 1施設 (2023年度)	
ストラクチャー	● PTSDを入院診療している精神病床を持つ病院数	3施設 0.4施設/10万人対	216施設 0.2施設/10万人対	レセプトデータ		
	● PTSDを外来診療している医療機関数	20施設 2.5施設/10万人対	2,458施設 1.9施設/10万人対	レセプトデータ		
ストラクチャー	● 高次脳機能障害支援拠点機関数	1施設	—	レセプトデータ		
ストラクチャー	● 摂食障害を入院診療している精神病床を持つ病院数	11施設 1.4施設/10万人対	1,174施設 0.9施設/10万人対	レセプトデータ		
ストラクチャー	● 摂食障害を外来診療している医療機関数	精神療法に限定 35施設 4.4施設/10万人対 精神療法に限定なし 119施設 2.0施設/10万人対	精神療法に限定 4,965施設 3.9施設/10万人対 精神療法に限定なし 20,280施設 16.0施設/10万人対	レセプトデータ		
	● 摂食障害治療支援センターの数	0施設	4施設	摂食障害全国基幹センター調べ 令和3.3現在	1施設 (2023年度)	
ストラクチャー	● てんかんを入院診療している精神病床を持つ病院数	16施設 2.0施設/10万人対	1,593施設 1.3施設/10万人対	レセプトデータ		
	● てんかんを外来診療している精神病床を持つ病院数	精神療法に限定 41施設 5.2施設/10万人対 精神療法に限定なし 305施設 38.6施設/10万人対	精神療法に限定 7,074施設 5.6施設/10万人対 精神療法に限定なし 52,255施設 41.1施設/10万人対	レセプトデータ		
	● てんかん診療拠点機関数	0施設	21施設	てんかん全国支援センター調べ 福井県 令和3年3月 全国 令和2年10月		

多様な精神疾患に対応できる医療連携体制の構築

区分	指標 (●重点指標)	現 状			数値目標	施策等	
		福井県	全 国	備 考			
多様な精神疾患に対応できる医療連携体制の構築	ストラクチャー	● 身体合併症を診療している精神病床を持つ病院数(精神科救急・合併症入院料+精神科身体合併症管理加算)	8施設 1.0施設/10万人対	1,002施設 0.8施設/10万人対	レセプトデータ		
		● 精神疾患の受け入れ体制を持つ一般病院数(精神疾患診療体制加算+精神疾患患者受入加算)	3施設 0.4施設/10万人対	686施設 0.5施設/10万人対	レセプトデータ		
		● 精神科リエゾンチームを持つ病院数	—	55施設 0.04施設/10万人対	レセプトデータ		
		● 救命救急入院料 精神疾患診断治療初回加算をとる一般病院数	—	76施設 0.1施設/10万人対	レセプトデータ		
		● 精神科救急入院料を算定した病院数	2病棟	286病棟	精神保健福祉資料 令和元年度		
	プロセス	● 精神科救急医療施設数 常時対応型 輪番型 合併症型 外来対応型	0施設 7施設 0施設 0施設	55施設 1,018施設 18施設 106施設	福井県:国への実績報告 令和2年度 全国:国立精神・神経医療研究センター資料 平成29年度		
		● 精神科救急医療体制整備事業における受診件数	734件	—	国への実績報告 令和元年度		
		● 精神科救急医療体制整備事業における入院件数	362件	—	国への実績報告 令和元年度		
		● DPAT先遣隊登録医療機関数	1施設 0.1施設/10万人対	—	障害福祉課 平成29年4月		
		● 指定通院医療機関数	6施設 0.8施設/10万人対	—	障害福祉課 平成29年4月		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築	アウトカム	● 精神病床における入院患者数	2,050人	289,000人	精神保健福祉資料 平成26年度	1,878人(2020年度) 1,606人(2024年度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉センター単位で保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置し関係機関の連携による支援体制の強化</li> <li>・精神障害者の地域移行を支援するために、退院後生活環境相談員や相談支援専門員が入院中からの連携により地域相談支援の利用促進および充実</li> <li>・地域移行に係る調整を行う相談支援専門員等への研修、ピアサポーターの育成・活用の推進</li> <li>・退院後の生活に向けた生活訓練の場、グループホームの充実</li> <li>・一般就労を含めた就労支援および企業や事業所に対する意識啓発</li> <li>・高齢長期入院患者の退院促進のため介護保等関係者との連携強化</li> <li>・訪問診療や訪問看護等のサービスの充実、病状悪化時や治療中断時の支援体制の検討</li> <li>・措置入院者の退院後の継続的な支援</li> <li>・認知症の人が地域での生活を継続するため医療・介護の連携を推進、若年層認知症患者および家族を支援するネットワークの構築</li> </ul>
		● 精神病床における急性期入院患者数	472人	57,000人	精神保健福祉資料 平成26年度	486人(2020年度) 489人(2024年度)	
		● 精神病床における回復期入院患者数	383人	46,000人	精神保健福祉資料 平成26年度	410人(2020年度) 413人(2024年度)	
		● 精神病床における慢性期入院患者数	1,195人	185,000人	精神保健福祉資料 平成26年度	982人(2020年度) 704人(2024年度)	
		● 精神病床における入院後3ヶ月時点の退院率	69%	66%	精神保健福祉資料 平成26年度	69%以上 (2020年度末)	
		● 精神病床における入院後6ヶ月時点の退院率	86%	82%	精神保健福祉資料 平成26年度	84%以上 (2020年度末)	
		● 精神病床における入院後12ヶ月時点の退院率	90%	90%	精神保健福祉資料 平成26年度	90%以上 (2020年度末)	
		● 精神病床における新規入院患者の平均在院日数	138日	128日	精神保健福祉資料 平成26年度		
		● 精神病床における退院後3ヶ月時点の再入院率[引き続き経年変化評価]	1年未満:22% 1年以上:44%	1年未満:20% 1年以上:37%	精神保健福祉資料 平成26年度	1年未満:20% 1年以上:37%	
		● 精神病床における退院後6ヶ月時点の再入院率[引き続き経年変化評価]	1年未満:27% 1年以上:44%	1年未満:28% 1年以上:40%	精神保健福祉資料 平成26年度	1年未満:28% 1年以上:40%	
		● 精神病床における退院後12ヶ月時点の再入院率[引き続き経年変化評価]	1年未満:32% 1年以上:48%	1年未満:36% 1年以上:43%	精神保健福祉資料 平成26年度	1年未満:36% 1年以上:43%	
		● 地域平均生活日数	306日	310日 (全国平均)	厚生労働省資料 平成28年3月退院者	316日(国の数値目標)	
		● 地域移行に伴う基盤整備量(利用者数)	—	—		214人(2020年度) 475人(2024年度)	
		● 地域移行に伴う基盤整備量(65歳以上の利用者数)	—	—		116人(2020年度) 258人(2024年度)	
● 地域移行に伴う基盤整備量(65歳未満の利用者数)	—	—		98人(2020年度) 217人(2024年度)			

※レセプトデータ  
平成26年2月～平成27年3月診療分